

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・機能訓練等々が療育出来るスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	6			
	③	職員の専門性は適切ですか	6			
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1		
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			・アンケート調査を行い、保護者の意向を把握し業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・事業者内やホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・毎月園内研修を開催し、職員の資質の向上に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・保護者へ面談し、アセスメントや課題を整理、分析して計画を作成している。 ・計画書は6ヶ月ごとにモニタリングし、見直している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			・診断書や成長発達検査にて適応行動状況を把握している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	6			・季節に応じた活動を提供している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			・個別支援計画書に沿った支援を行っている。 ・長期休暇時の課題はきめ細やかにはできていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・1週間の計画・担当を決め、毎日の朝礼時に利用者の状態や支援内容、役割分担など確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6			・支援終了後申し送りをしてノートに記入し、本日の支援を個々に振り返り、支援を共有できるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			・サービス提供記録にて正確に記録している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・6ヶ月毎、又は利用者の状況変化時には家族への満足度調査をとり、モニタリングし、計画を見直している。
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		・サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1		・学校主催のケース会議や担当者会議等で情報を共有している。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			・主治医の情報提供書もらい、ケース会議等にも主治医が参加し情報共有ができています。 ・嘱託医への相談等もできる。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		・保育所での成長発達の様子をうかがい情報共有し、連絡ノートにて相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ場での支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	・専門機関との連携や助言、研修等積極的に取り組む必要がある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		5	1	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	3	1	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・連絡ファイルや利用者の状況や課題について職員間で話し、共有できている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	1	
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・契約時に利用契約書、重要事項説明書を説明し、同意を得ている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・必要に応じて支援できている。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			・年2回親子ふれあい会を開催し、親子・保護者の交流の場を設けている。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・苦情があった場合は対応策をとり職員間で話し合い、共通理解している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・定期的にはまゆう新聞を発行しており、毎月の活動予定表も作成し配布している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	6			・個人情報決められた場所に保管している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・表情や仕草、情緒等全体を見ながら想いを確認したり、小さなことでも保護者へ伝える努力をしている。
非常時の対応	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5		・はまゆう療育園（母体）の行事等に声掛けして参加を促し、地域の方との交流を図る。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			・各種マニュアル等に沿った勉強会を毎年開催しており、緊急時対応マニュアルは利用者個人で作成し、家族の同意を得ている。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	6			・年に2回総合避難訓練を開催している。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・毎年外部研修に参加し、園内研修も年に1回、虐待防止定例会を3ヶ月毎開催している。 ・定期的に虐待防止委員会や勉強会を行っている。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・「身体拘束に関する説明書及び同意書」に家族に同意してもらい、採血時等一時的に身体拘束にて行動制限が必要な旨を計画書に記載している。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		・利用前にアレルギーの有無を確認し、アレルギーがある場合は食事提供先の事業所へ連絡する。（現在アレルギー有りの児童はいない）
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・毎月他事業所参加するリスク委員会へ参加し、全職員で共有している。 ・事故、ヒヤリハット報告書にて分析、対策を取り共通理解している。